

2021年度 事業報告書

1. 特定非営利活動の概要

2021年度は、特定非営利活動法人きょうと介護保険にかかわる会（以下「かかわる会」という）の理念・目的を達成するため、以下の活動を行いました。

- (1) 介護保険制度のオンブズマン養成事業としての「研修会」の定期開催
- (2) 介護・福祉サービス提供事業者の質の向上と事業の発展をめざした「介護・福祉サービス第三者評価事業」
- (3) かかわる会の活動や介護保険制度の情報発信の充実及び会員交流を目指して、会報の充実と新しい方式でのホームページへの変更
- (4) 「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」との連携強化によるシンポジウムの継続開催と友好団体等との連携強化及び京都市の介護保険行政への提言
- (5) 変遷する介護保険制度や社会保障制度の調査研究
- (6) 第2回京都市地域包括支援センターの実態調査の実施

2. オンブズマン養成事業（研修会等開催事業）

(1) 実施・広報

研修会は例年通り、毎月1回、年10回（8、12月を除く）の開催を予定していましたが、コロナまん延防止等重点措置のため5月、6月はやむなく中止致しました。他の月は感染対策を十分に行った上で実施しました。1年を通して会場はひと・まち交流館京都を利用しています。研修会の参加者数は若干ながら増えました。

各研修会の報告は会報やHPに掲載しています。研修会開催の広報は、会報やチラシ配布、HPのほか京都新聞の「まちかど」や「ふれあい広場」欄に依頼、毎回の掲載も定着し、各研修会には市民の方も多く参加され、参加した方の中から当会への入会もありました。京都市ボランティアセンターや長寿すこやかセンターの情報欄からも情報発信し広報に努めました。

(2) 主な研修事業

- ・介護保険法第8期改正について（4月）
- ・2021年度の事業計画として総会で決定された京都市地域包括支援センター実態調査に関連した研修に取り組みました。（9、11、2月）
- ・新型コロナウイルス感染症対策における医療・公衆衛生政策について（7月）
- ・「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」の第6回シンポジウム「今こそ介護者支援を考える」に構成団体の一つである当会も参画しました。今回は初めてオンラインにて開催（10月）
- ・既成の枠外で新たに取り組み全国的に広がっている「ホームホスピス」について研修しました。（3月）

第8期 きょうと介護保険にかかわる会 第11回研修会

介護保険法の改正を巡って

今回の改正のポイントの概要と焦点を絞った重点項目
特に総合事業、人材確保、地域包括システムなど

お話し
京都府健康福祉部高齢者支援課
課長 杉本圭哉 さん

4月17日(土)
13:30-16:30

ひと・まち交流館 京都 第4本会議室
京都府下北区河原町西五条下丸東側

●参加費 会費 300円 / 一般 500円
●定 員 90名
●申 込 お名前、連絡先をメールかFAXで
お届ください。

NPO法人 きょうと介護保険にかかわる会
TEL/FAX 075-821-0088 mail: npokawar@shinken.com.jp

NPO法人きょうと介護保険にかかわる会 第12回研修会

新型コロナウイルス感染症と 医療・公衆衛生政策の課題

講 師 京都府保険医療協会 事務局次長
中村 隆 さん

医療崩壊寸前！その真相は？

- 1 コロナ対応の基本的な枠組み
- 2 昨今の病床逼迫と患者を待つ状況
- 3 制度改善課題を考える

講師プロフィール

7月23日(金)
13:30-16:30

ひと・まち交流館 京都 第4本会議室
京都府下北区河原町西五条下丸東側

●参加費 会費 300円 / 一般 500円
●定 員 90名
●申 込 21日までに、お名前、連絡先をメールか
FAXでお届ください。

NPO法人 きょうと介護保険にかかわる会
TEL/FAX 075-821-0088 mail: npokawar@shinken.com.jp

きょうと介護保険にかかわる会 第13回研修会

京都市の 高齢サポートについて (地域包括支援センター)

お話し
京都府健康福祉部
健康推進課の長 京都府健康推進課
地域包括ケア推進部長 田坂 肇 さん

9月18日(土) 13:30-16:30

ひと・まち交流館 京都 第4本会議室
京都府下北区河原町西五条下丸東側

●参加費 会費 300円 / 一般 500円
●定 員 90名
●申 込 お名前、連絡先をメールかFAXで
お届ください。

NPO法人 きょうと介護保険にかかわる会
TEL/FAX 075-821-0088 mail: npokawar@shinken.com.jp

■2021年度研修会一覧

回数	実施日	テーマ	講師	会場	参加者
第111回	2021年 4月17日	第8期介護保険法の改正 を巡って	京都府健康福祉部高齢者支援課 課長 杉本圭哉氏	ひと・まち 交流館京都	29名
総会	5月22日 (中止)	在宅医療に取り組む おせっかい医師	渡辺西賀茂診療所 理事長 渡辺庸介氏	ひと・まち 交流館京都 大会議室	—
	6月中止				
第112回	7月23日	新型コロナウイルス感染症と医 療・公衆衛生政策の課題	京都府保険医協会 事務局次長 中村暁氏	ひと・まち 交流館京都	32名
第113回	9月18日	地域包括支援センターの 現状と課題	京都市保健福祉局 地域包括ケア推進担当課長 田坂泰士氏	ひと・まち 交流館京都	30名
5団体共催	10月16日	第6回シンポジウム だまったらあかん! 「今こそ介護者(ケアラー) 支援を考える」 オンライン(ZOOM)	(問題提起/コーディネーター) 新井康友氏 (パネリスト) 鈴木森夫氏 津止正敏氏 斎藤真緒氏	ひと・まち 交流館京都 大会議室	130名
第114回	11月20日	地域包括支援センターと 地域連携の実際	京都市 日ノ岡地域包括支援センター センター長 堀田晃平氏	ひと・まち 交流館京都	29名
第115回	2022年 1月14日	ちゃりんこ日本縦断 ～アクティブシニアの小さ な冒険～	会員 正木隆之氏	ひと・まち 交流館京都	23名
第116回	2月19日	日本医療と介護の特徴～ 地域包括支援の充実のた めに～	介護福祉士/老年科医師 会員 奈倉道隆氏	ひと・まち 交流館京都	30名
第117回	3月12日	ホームホスピスってご存知 ですか?	NPO法人宝塚つ・む・ぐの家 理事長 西野マリ氏	ひと・まち 交流館京都	30名

3. 介護・福祉サービス第三者評価事業

(1) 介護・福祉サービス第三者評価事業 実施状況

2021年度もコロナに翻弄された1年間でした。緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の期間中は支援機構から「基本的には第三者評価は実施しないこと」と通達があり、私たちもそのような行動をとりました。その関係から、訪問を予定していても、コロナの感染者の関係で延期となったケースもあり、受診申し込みは20件ありましたが、第三者評価の訪問件数は14件でした。6件につきましては次年度に繰り越すことになりました。

このような大変な状況の中でも、事業所の協力のもと感染症対策を十分行ったうえで14件の訪問調査を実施することができました。本来ならば施設見学を細かくさせていただくのですが、コロナ禍においては映像で準備してくれたり、職員が動画で示してくれたり、工夫しながら乗り切ることができました。詳細は次ページ一覧表をご覧ください。

昨年度（2020年度）はコロナの経験が初めてのため、外出や家族の面会を禁止する事業所が多くありましたが、その中でも今年度は工夫しながら外出や家族の面会を実施していました。コロナが長引く中で「コロナだからできない」ではなく、「コロナでもできることをする」に管理者や従業員の意識が変化していることが大変うれしく感じました。

(2) 第三者評価調査者フォローアップ研修

第三者評価調査者を対象とした当会のフォローアップ研修ですが、今年度は実施することはできませんでした。第三者評価受診の事業所が創意工夫しながらさまざまな取り組みを行っていましたので、反省点だと思います。

支援機構主催の2021年度の「福祉サービス等評価調査者 福祉フォローアップ研修」（2022年2月～3月実施）には2名参加、Web視聴でレポートを提出する形式のものでした。今回のフォローアップ研修の資料を基に伝達研修を考えています。

(3) 第三者評価調査者、審査会委員について

第三者評価調査者の児童館調査者が1名増員できました。詳細は下記の通りです。

- ・ 第三者評価調査者登録者数（2022年3月31日現在） 1人複数の登録あり

介護	28人
障害	12人
保育	13人
児童館	4人

- ・ 審査会委員登録者数 12人



第三者評価審査会の様子

■2021年度 第三者評価実施事業所一覧

	法人名	事業所名	主な受診事業	調査日	調査者数 (人)	審査日
1	社会福祉法人 宇治明星園	宇治明星園介護サービス センター	居宅介護支援	6月21日	3	7月28日
2	医療法人 啓信会	ヘルパーステーション リエゾン大久保	訪問介護	6月23日	2	8月4日
3	社会福祉法人 向陽福祉会	特別養護老人ホーム 向陽苑	介護老人福祉施設	6月24日	3	7月28日
4	医療法人 啓信会	ヘルパーステーション リエゾン萌木の村21	訪問介護	10月13日	2	11月18日
5	医療法人 啓信会	ヘルパーステーション リエゾン健康村	訪問介護	10月15日	2	11月18日
6	株式会社ミスト ラルサービス	ミストラル介護センター 綾部	訪問介護	10月20日	3	11月26日
7	医療法人 啓信会	ヘルパーステーションリ エゾン四条	訪問介護	10月21日	2	11月26日
8	医療法人 啓信会	ヘルパーステーション リエゾン羽束師	訪問介護	11月9日	2	12月17日
9	社会福祉法人 清和園	特別養護老人ホーム 吉祥ホーム	介護老人福祉施設	11月16日	3	12月23日
10	株式会社ミスト ラルサービス	ミストラル福知山西	訪問介護	11月19日	2	2022年 1月12日
11	社会福祉法人 清和園	京都市吉祥院老人デイ サービスセンター	通所介護	11月25日	3	1月12日
12	株式会社ミスト ラルサービス	ミストラル介護センター	訪問介護	12月14日	2	2月8日
13	社会福祉法人 フジの会	特別養護老人ホーム みやびのその	介護老人福祉施設	2022年 1月13日	3	2月18日
14	社会福祉法人 和光会	特別養護老人ホーム 梅林園	介護老人福祉施設	3月30日	3	4月27日

■各号のページ建てと主な内容

号	122	121	120	119	118	117
発行日	2022. 2. 4	2021. 12. 3	2021. 10. 8	2021. 8. 6	2021. 6. 4	2021. 4. 2
1 頁	地域包括支援センターに期待する(梶) 目次	「さわやか福祉財団」創立30周年に寄せて(梶) 目次	ヘルパー不足には政策の転換が必要(梶) 目次	制度に甘えることなく、足元を見つめて(梶) 目次	2021年度総会報告(小栗)	お任せ主義からの脱却を(梶)
2 頁	地域包括支援センター実態調査活動報告No.3(中川)	11月研修会報告(小中)	9月研修会報告(竹山)	7月研修会報告(笠原)	かかわる会組織・業務担当図	2月研修会報告(萩原)
3 頁	介護保険ホットNews	11月研修会報告(小中)	9月研修会報告(竹山)	7月研修会報告(笠原)	就任・退任理事挨拶	3月研修会報告(冬木)
4 頁	1月研修会報告(中川)	地域包括支援センター実態調査活動報告No.2(中川)	地域包括支援センター実態調査活動報告No.1(中川)	わたしのコロナ体験記(萩原)	4月研修会報告(正木)	私の考えるwithコロナ時代について(梶政彦)
5 頁	1月研修会報告(中川) 新春会員交流会報告(栗山)	だまったらあかん! シンポ報告(正木)	11月研修会だまったらあかん! シンポ案内/介護保険ホットNews	地域包括支援センター実態調査に向けて(中川)	4月研修会報告(正木)	私の考えるwithコロナ時代について(梶政彦)
6 頁	2月・3月研修会案内 本の紹介(冬木)	1月研修会案内/介護保険ホットNews	寄稿 ショッピングリハビリとは(中川宏貴)	私の介護体験(三村) 本の紹介(小中)	2012高齢サポート聞き取り調査を振り返る	小中敬三の突撃傍聴体験～長寿すこやかプラン決定のセレモニー～(小中)
7 頁	私の介護体験(萩原) 本の紹介(正木)	私の介護体験(小栗) 本の紹介(吉川)	私の介護体験(天野) 本の紹介(田村権一)	9月研修会・だまったらあかん! シンポ案内 市会懇談会報告(中川)	7月研修会案内 介護保険ホットnews 本・サミット紹介	4月・5月研修会案内 報告書等の紹介
8 頁	会員リレーえっせい(片桐直哉) 編集後記(竹山)	会員リレーえっせい(高橋弘江) 編集後記(小中)	会員リレーえっせい(小辻寿規) 編集後記(正木)	会員リレーえっせい(井上加代子) 編集後記(栗山)	会員リレーえっせい(宮本操) 編集後記(冬木)	会員リレーえっせい(櫻庭葉子) 編集後記(河原)

※ 主な内容のうち、研修会については「2. オンブズマン養成事業」をご覧ください。

(2) ホームページ・SNSの管理

2019年9月より <https://npokaigo.or.jp>のドメインでスタートした会の公式ホームページに研修会の予告、報告、会報の発行については速やかに掲載するようにしました。WordPressという仕組みを使っているので複数担当者での編集が可能ではありますが、一定の研修が必要であることから担当者の複数化は実現していません。当会のFacebookページも開設していますが、ホームページとのリンクが上手くいかず、今のところ情報の更新が余りできていないのが課題です。

(3) 研修会の広報について

各回の研修会チラシの印刷原稿を作成し、外注もしくは内部印刷したチラシを会報と共に発送したり、ひと・まち交流館に配架しました。見栄えのするカラー印刷が安価で実現していることから研修会の参加人数拡大にも貢献しています。また京都市福祉ボランティアセンターや長寿すこやかセンターの情報欄も利用しましたが、毎回の案内を掲載するには至りませんでした。

6. 地域包括支援センター実態調査の実施（新規事業）

当調査は2021年度の事業計画として総会で決定され、理事会を中心に実施に向け準備を行いました。最初に、調査員を希望する22名の会員によるプロジェクトチームを立ち上げ、9月18日に第1回目のプロジェクト会議を開催し、本年4月に至るまで合計7回開催しました。地域包括支援センターについての勉強会、実施要項の作成・調査内容の作成・調査日程等の検討をする一方、京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会、京都市行政担当課への協力依頼等を行いました。

日程はコロナ禍拡大等によりアンケートの回収日や聞き取り訪問調査日の延期で当初予定より遅れていますが、2022年7月には調査報告をする予定です。

調査の目的は、同センターは従来の業務に加え介護保険法の改正で、地域包括ケアシステムの構築の取り組み等その役割や機能は大きく拡大し、業務過多で職員は多忙を極めている実態があります。そのセンターの現状と課題を探るために調査を行うとともに、当会が10年前に実施した調査の課題が改善されているかを検証します。

7. 関係諸団体との連携強化

2016年12月に発足した「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」の構成5団体を始め他団体や事業所との連携に努めました。同会主催の第6回シンポジウムは2021年10月16日に開催しました。（詳細は「2. オンブズマン養成事業」をご参照ください。）

このシンポジウムに寄せられた市民や現場の声をまとめ、2022年3月22日に京都市長に「提言書」を提出し、保健福祉局介護ケア推進課と話し合いの場を持ちました。

シンポジウムの報告書（700部）を2022年3月に発行し「京都市高齢者施策推進協議会」の委員を始め、市議会、全地域包括支援センター、関係機関や希望する市民に配布しました。

また、市会の福祉教育委員会の各派の議員と懇談の場を持ち、当ネットワークの活動や提言した内容について意見交換しさらに介護保険制度の改善等について訴えました。

8. 会の運営（事務局）

(1) 会員の状況

会員数は2021年3月末現在87名。この1年の新入会員4名、退会者4名、再休会1名で、2022年3月末現在会員数86名とほぼ横ばいで推移しました。研修会参加市民への声かけや会員による新会員勧誘も継続的に行っています。今後更に介護保険制度や介護サービスのあり方、第三者評価等に関心を持つ方の入会を図っていきたいと思います。

(2) 財政の状況

新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない中、第三者評価事業の受診申込みは20件と予算目標通りの件数が確保出来ました。しかしながら第6次の感染拡大に至り「まん延防止等重点措置」の発出により20件中6件は年度内に事業所調査に入れなくなり、売上計上できませんでした。

一昨年度は327千円の大幅な赤字でしたが、昨年度は寄付金収入があり、最終的に18千円程の赤字で締めることができました。

(3) 理事会・三役会議の開催等

理事会は毎月ほぼ全員の理事が出席して月1回（原則第1木曜日）定期開催してきました。今年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置を受けて、12回の内5回はオンラインもしくはオンライン・対面併用で理事会を開催しました。

毎月の理事会では研修会テーマや講師の検討、三評関係の課題、会報記事の検討など、その時々の問題を広く討議してきました。

さらに三役会議の定期開催と課題発生時の会議等も行い、迅速に対応してきました。NPO法人に義務付けられている各所轄官庁への活動報告書の提出、定款改定・役員の異動届、法人事業税の申告と納付等の法定業務は何れも期限内に履行しています。